友達の巨乳ママとハメまくり

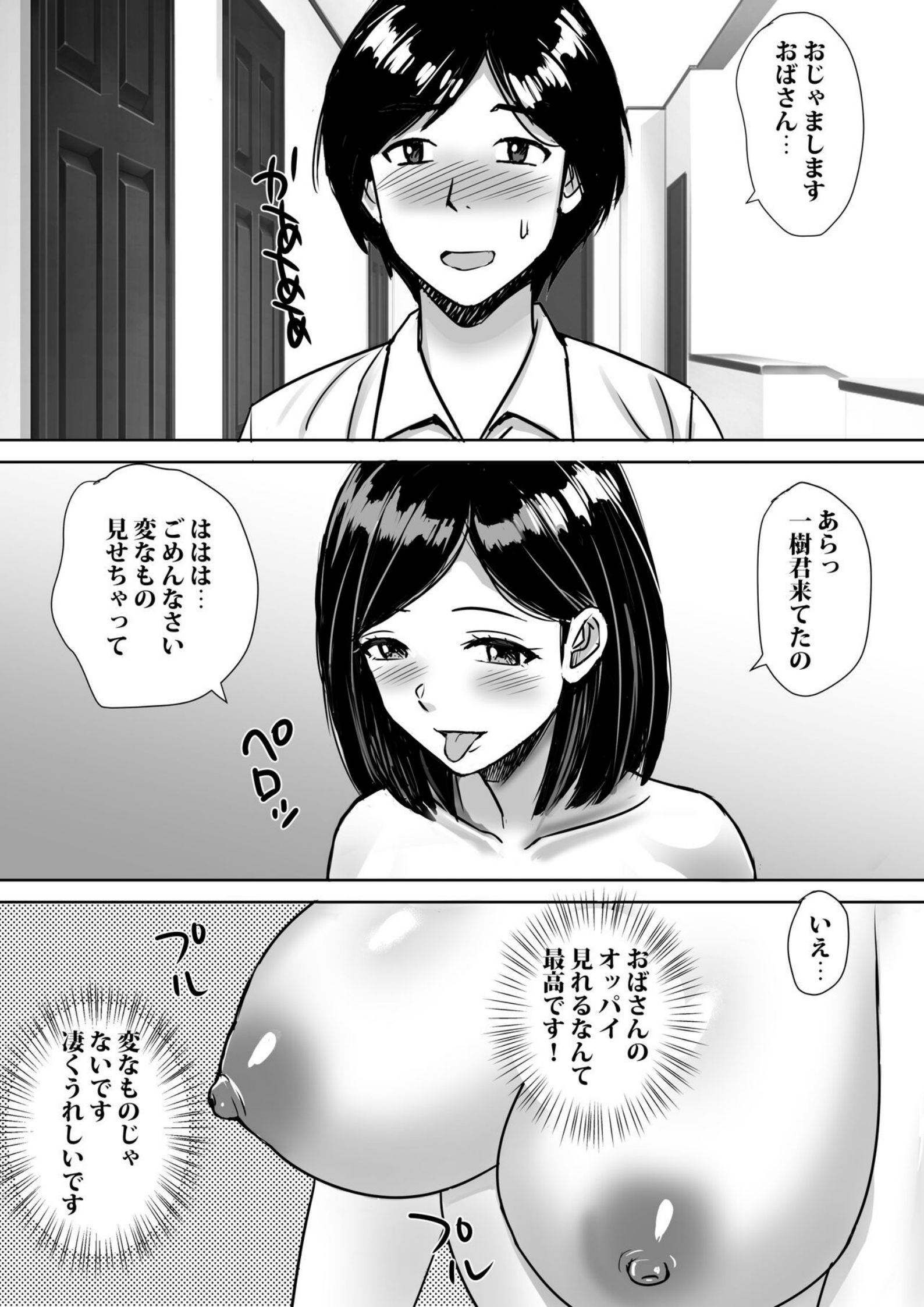







ただいまぁ
上がれよ
うん
ガチャ
か…母さん
お帰りなさい
むちぃ♥

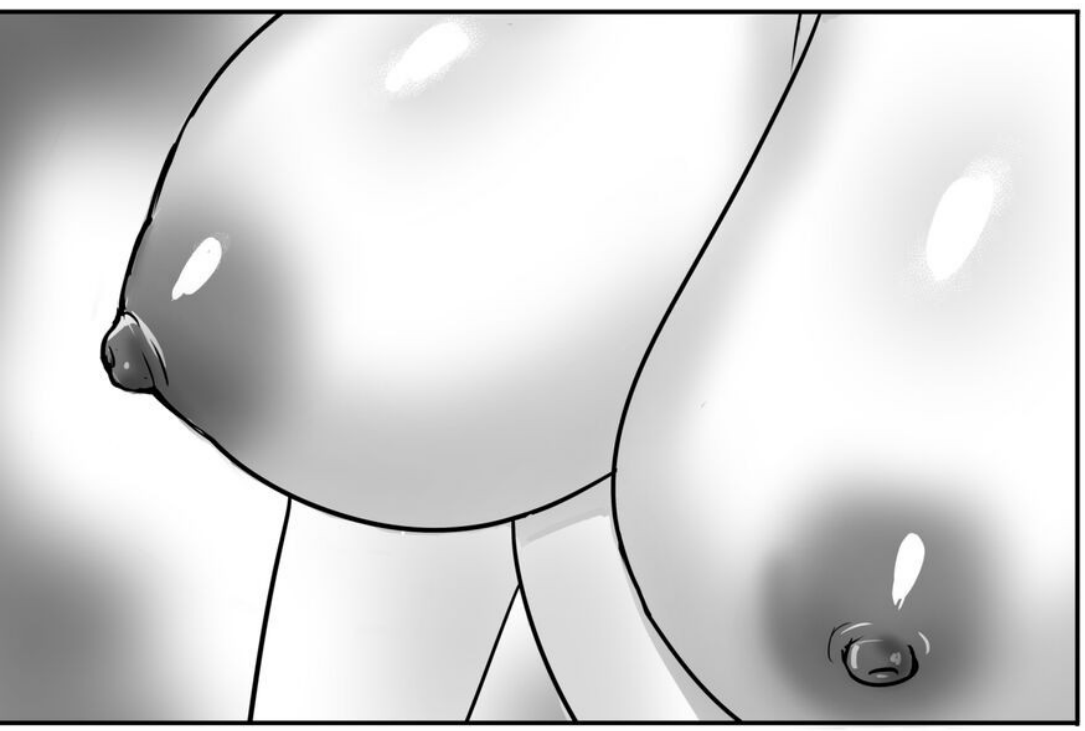

何やってんだよ!?
何って
暑くて汗かいたから着替えてるのよ
何、顔赤くしてるのよ？
母さんの裸なんか見飽きてるでしょ
ホラホラ
わ～っバカよせやめろ～
ﾚﾆｭ
一樹が来てんだよ
えっ？


おじゃましますおばさん…
あらっ一樹君来てたの
ははは…ごめんなさい変なもの見せちゃって
いえ…
おばさんのオッパイ見れるなんて最高です！
変なものじゃないです凄くうれしいです


どうしたんだ
一樹？
今日はえらく
静かだな？
実は俺
好きな人が
いるんだ
え～っ
マジかよ？？
誰々？
お…お前の
知らない人だよ
それに片思いなんだ
な～んだ
だったら
さっさと
告っちゃえよ
告っても
いいのかな？
いいさ！
それで振られても
なんも損しないし
誰にも迷惑
かける訳じゃ
ないだろ
そうか！
いいんだな
告っても!?
おっ
おお…







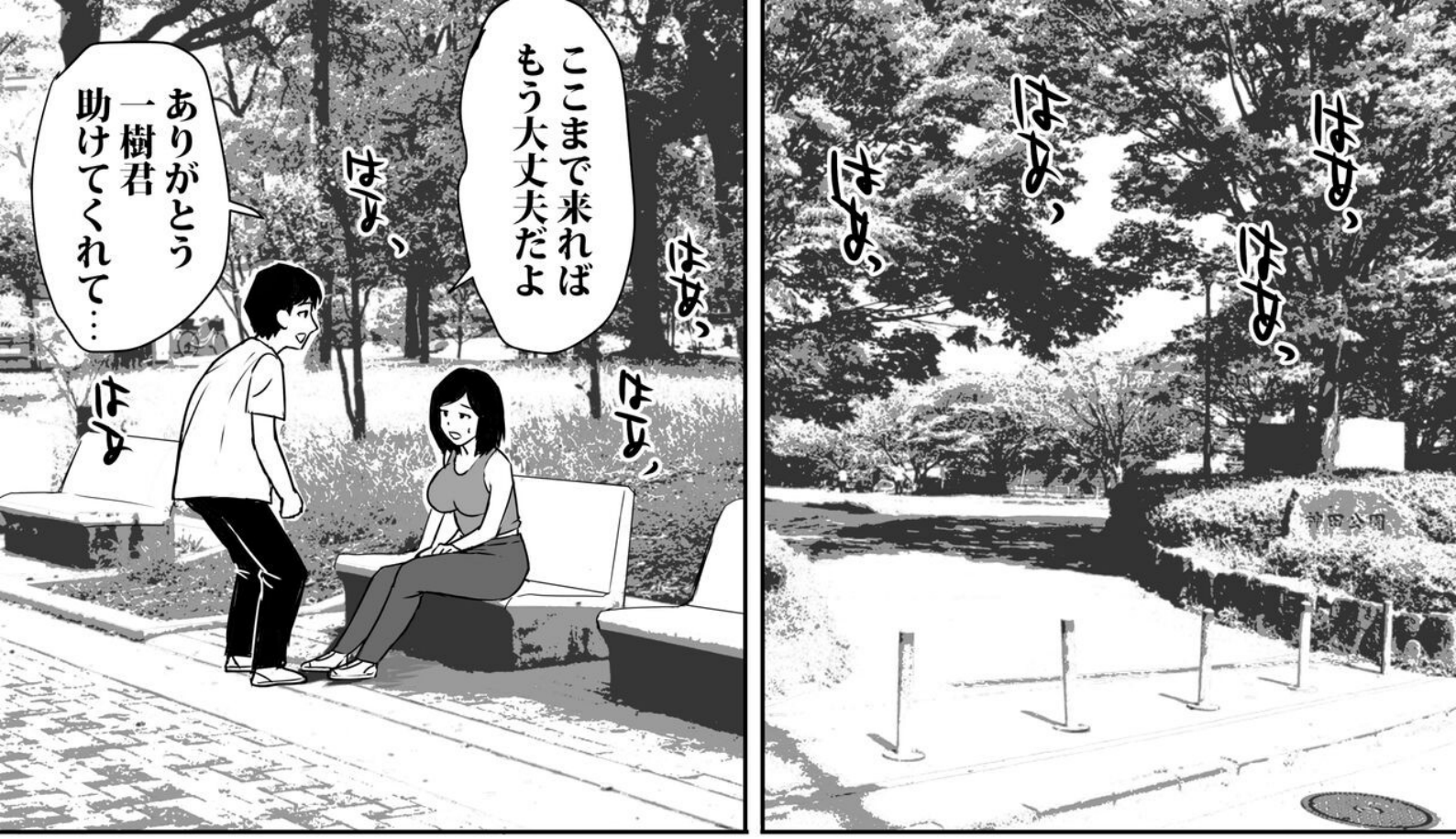



告白しようかな

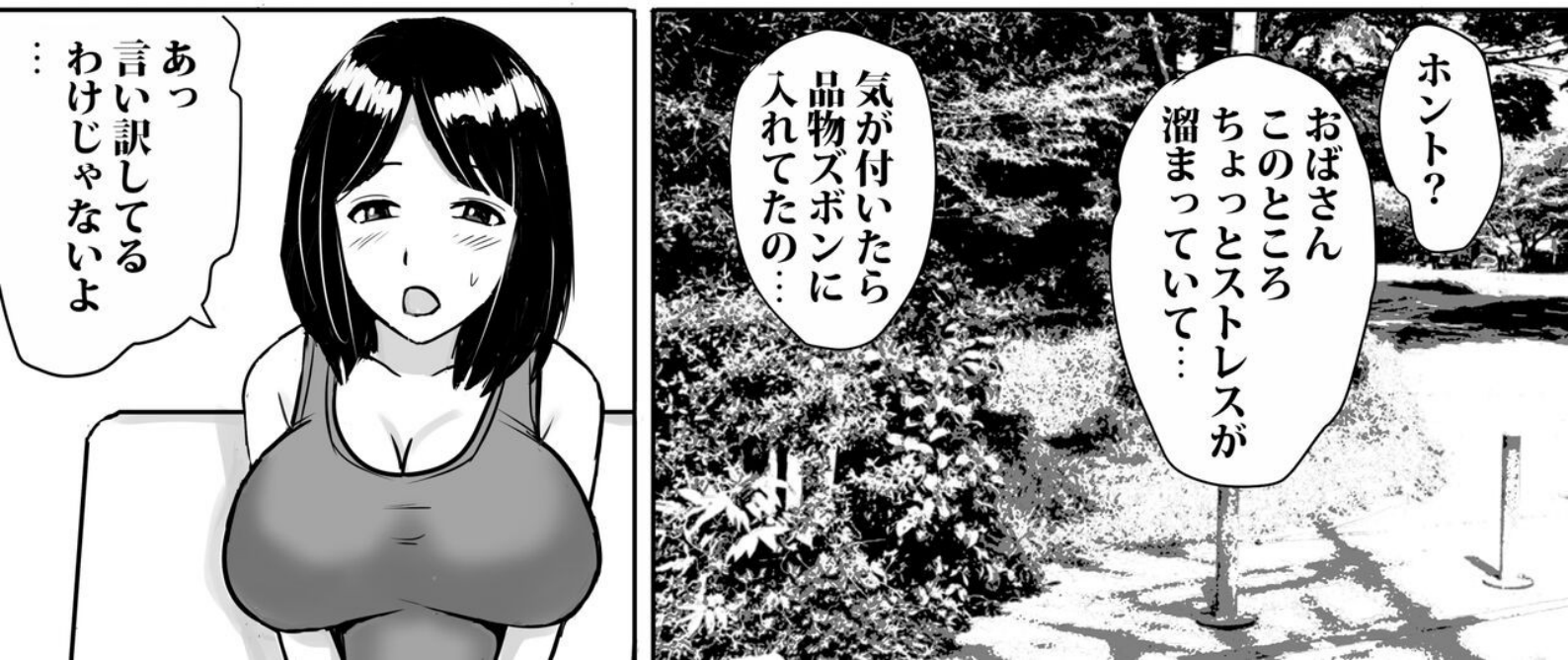

スーパー同人
今日は何にしようかなぁ？
あっおばさん
ユサ
ユサ


相変わらず
大きいな
当たり前だけど
キョロ
キョロ
？
おばさんが
万引き!?


ちょと
あなた…
今そのバックに
商品入れたわよね
ビクッッ
えっ…
ドガッ
ぎゃあ！
一樹君？
ヌッ
ヌッ
ヌッ
ヌッ
ヌッ
おばさん
逃げてー!!


はぁ、
はぁ、
ここまで来れば
もう大丈夫だよ
はぁ、
はぁ、
ありがとう
一樹君
助けてくれて…
はぁ


私の事幻滅
したでしょ
そ…そんな
ことないです
…


ホント？
おばさん
このところ
ちょっとストレスが
溜まっていて…
気が付いたら
品物ズボンに
入れてたの…
あっ
言い訳してる
わけじゃないよ
…

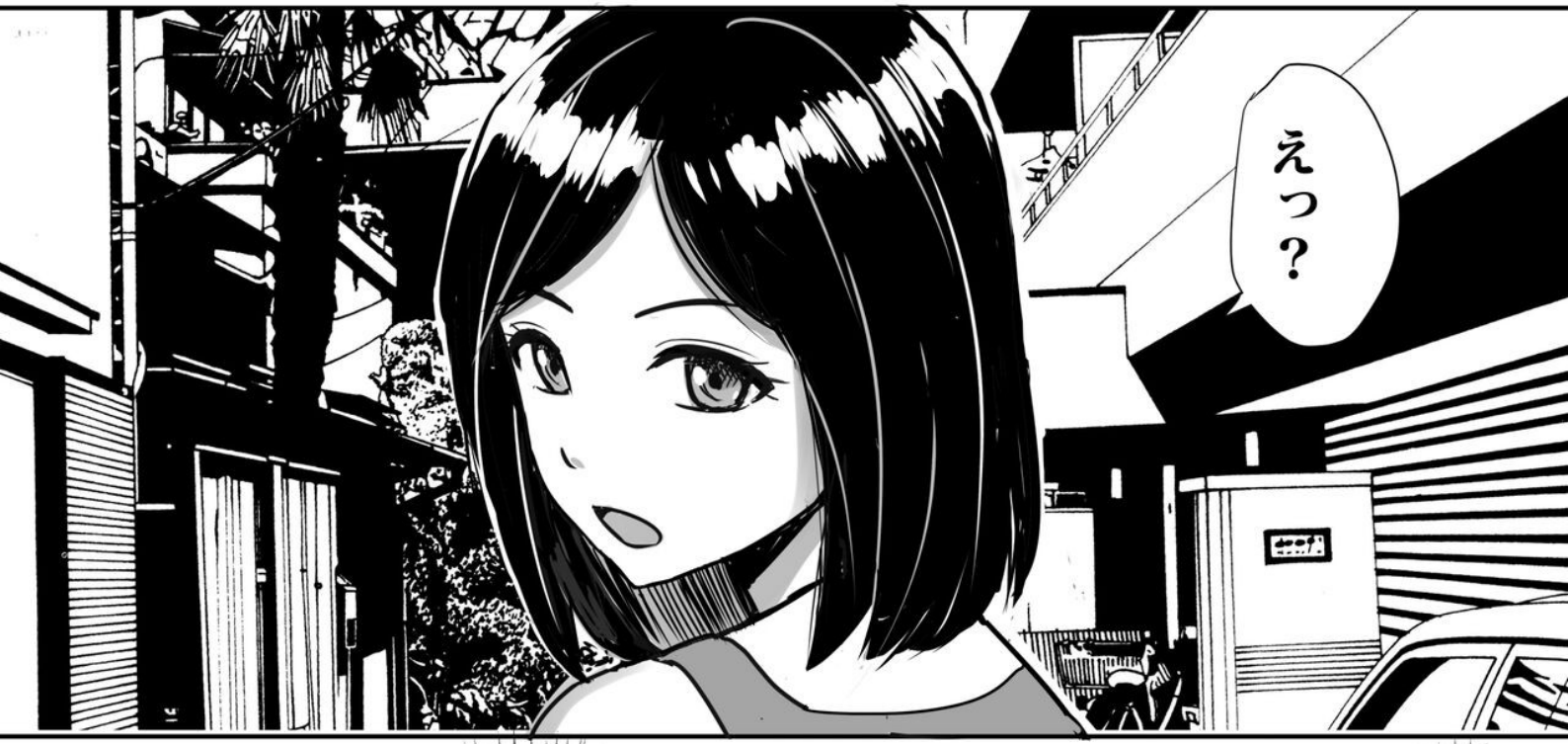

ストレスってあれもそうなのかな？
宏トイレ借りるぞ
おお
あんっ
うん
んんっ
あんっ
うん
んんっ
あんっ
ああっ
んんっ
ヌル
ニチュ
ニチュ
!?


お…
おばさんが
オナってる…
あうっ
あぁ
はぁ
うぅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
マジか…？
イっちゃう
…
イっちゃう
～～～!!


この事宏には黙っててね
母親が万引きしたなんて
知られたら…
もちろん
言いませんよ
何かお礼
しなきゃね
えっ？
僕そんな
つもりじゃ…


お願い
そうしなきゃ
私の気が収まら
ないの


汗で透けてる
そ…それじゃ
おばさんの
オッパイ
触らせてください


えっ？


ヤバイ…
言ってしまった
……
そうか…
一樹君の家庭は
家とは逆で父子家庭
だったんだわ

お母さんを
幼い頃に
亡くしたとかで
母親の愛情を
知らないのよね

いいわよ

でもここじゃ
ダメだから
明日家に来て…
宏も塾で居ないから

はい！

ホントに
いいんですか!?
絶対行きます!!


いいわよ
触って…
スーー
な…生で見ると
更に巨乳だ
ぶるん


うわっ
思ってたより
全然柔らかい
モミ
モミ
ギュ
モミ
モミ
ああっ
強くつまんじゃ
痛いわ…
はぁ～
なぁ～
乳首が大きいな
子供を産んだから
なのかなぁ
ぐり
ぐり
あっ
すいません…


な…舐めてもいいですか？
ドクン
ドクン
えっ？
い…
いいわよ…少しなら…
ドクン
ドクン
ジュル
チュー
チュー
もしかしたらオッパイも吸ったことないのかしら
憧れだったおばさんのオッパイ吸えるなんて夢みたいだ
ああ…何年ぶりかしら男の人にオッパイ舐められるなんて…


僕ずっと前から
おばさんのことが
好きだったんです
僕ずっと前から
おばさんのことが
好きだったんです
そう…
ありがとう
私も一樹君が
好きよ
ペロ
ペロ
グリグリ
えっ？
ち…違うんです
そうじゃなくて
じょ…女性として
好きなんです
こんなおばさん
からかって
本気にするわよ
ペロ
レロレロ


本気です！
僕前からおばさんのことが大好きだったんです！
こんなに真剣に私のこと好きなんて
ああ…すいません…
それ…私だから勃っちゃったの？
えっ!?
オチンチン私が鎮めてあげようか


まっ！
キュッ
えっ？
な…なんか
変ですか？
凄く大きいの
これなら自慢
できるわよ
オチンチン
見るなんて
何年ぶりかしら
キュッ
キュッ
キュッ
離婚してから
初めてかも
凄い！
一樹君の
オチンチン
シコ
シコ
暖かい
ドクドクと
脈打ってる
この感触
久しぶりだわ
ギュッ
ギュッ


気持ちイイ？
な…舐めてもいい？
は…はい
シコ
シコ
シコ
凄い…口の中に入りきれないわ
おばさんが僕のチンポ咥えてる
ヴヴヴ
ジュロロ
ジュロロ

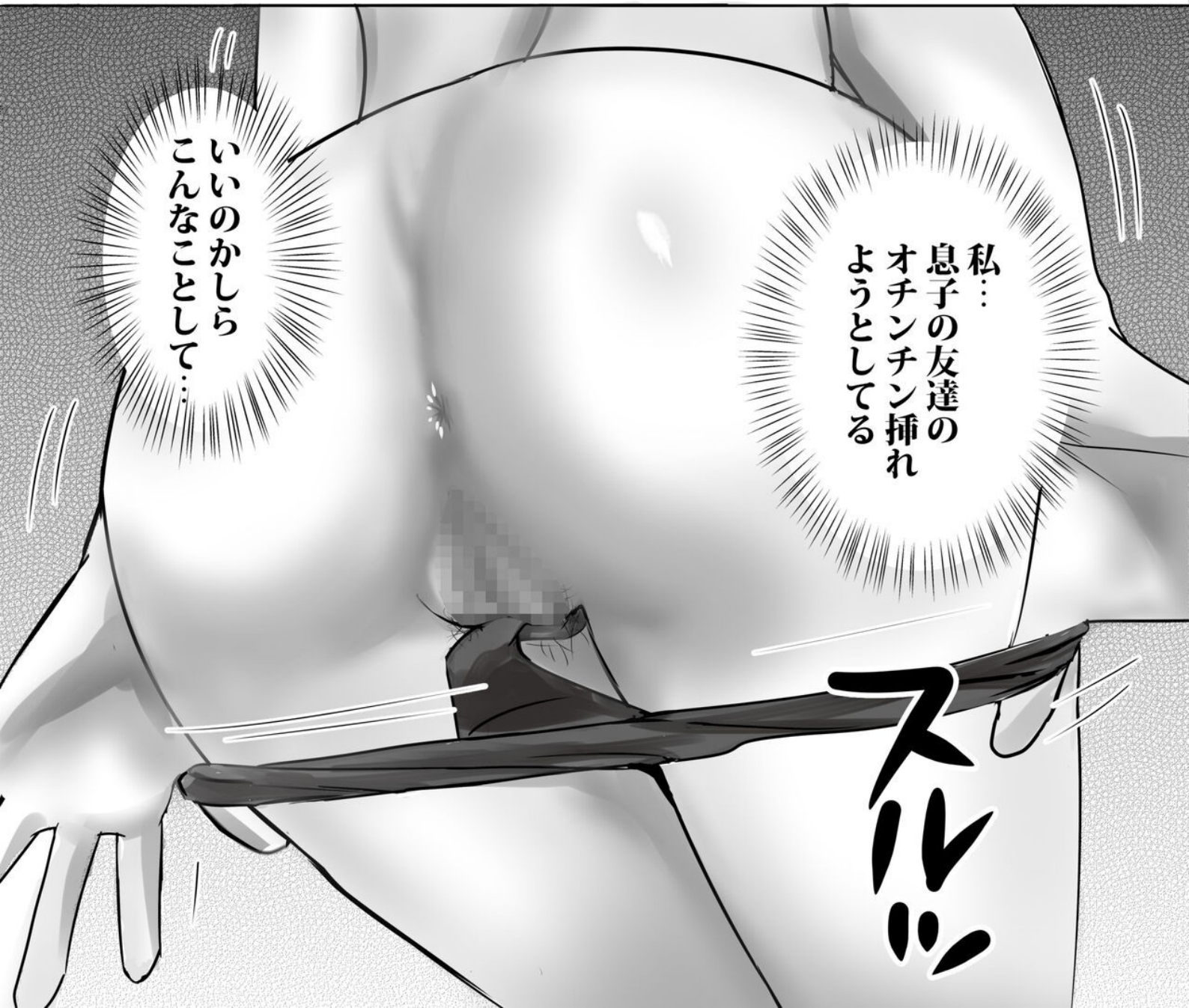

うわぁ
たまんね～
ペロ
ペロ
ペロ
フェラって
こんなに気持ち
イイのか…？
ジュルルルル↑↑
おばさんの舌
超気持ちイイ～！
ジュプ
ジュプ
ジュプ
ジュプ
ジュプ
ジュプ
トーング


手でやるより
何倍もヤバイよ
ああ…
そんなに激しく
舐められたら…
で…出るよ
おばさん！


ぐぽっ
ううっ
あごっごご
いっぱい出たね…
トロ～ッ


でもまだ全然元気ね
お…おばさん
ど…どうしよう？おばさんこれ以上は…
おばさんが好きなんです
あっ！
僕の童貞もらってください
ああ…一樹君
セックスはダメよ…


おばさんのストレスってセックスもあるんじゃないですか？
僕頑張りますおばさんを気持ちよくさせれます
わ…わかったわ1度だけよ
はい！


私…息子の友達のオチンチン挿れようとしてる
いいのかしらこんなことして…
スルッ


グッ
あっ
そこじゃない
もっと下よ
ズニュニュ
ああ…
そ…そこ…
静かに挿れて
…
は…はい
ぁっん♥
ああっスゲェ…
これがオマンコか


ヌチャ
ヌチャ
ヌチャ
ヌチャ
アッ
アッ
アッ
10年ぶりの
オチンチン
き…
気持ちイイ
忘れていた
この感触
アッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
おばさんの
オマンコ
気持ちいい！
おばさんも
気持ちイイ？
オマンコの中を
オチンチンが
擦ってる…


イイわ…
一樹君のオチンチン素敵よ
好きだよおばさん…
アッ
アッ
アッ
アッ
アッ
タプン
タプン
ヌチャ
ヌチャ
ヌチャ
ヌチャ


たまんないよ…おばさん
ああっおばさんのオマンコキュウキュウ締め付けて来る
ああ～本物のオチンチンイイ～～～!!
アッ
アッ
アッ
アッ
アッ
ギュポ!
ギュポ!
ズリュ
ズリュ
ズリュ
ズリュ


キスして
一樹君…
ちゅ
ぬちゅ
ねちょ
ズリュ
ズリュ
ズリュ
アッ
アッ
アッ
もっと擦って
オチンチン
あっそこ
イイー！
イイー!!
アッ
アッ
ヌチャ
ヌチャ
ヌチャ
ひゃあ
あん!!
ヌチ


ねぇ…
後ろから
してもいい？
ペトッ
いいわよ
ズチャ
ズチャ
ズチャ
ズチャ
ああぁ…
奥まで届いてる
アッ
アッ
アッ
アッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
おばさんの
大きなお尻
大好きだ！


ああ…
もうイき
そォ
アッ
アッ
アッ
アッ
アッ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ああああ…
イっちゃう～～


ああ…もう
我慢できないよ
射精してもいい？
アッ
パン
いいわよ
今日は大丈夫
だから
おばさん…!!
ああ～っ
一樹君の精子が
入って来る～～!!
ドクドク


はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
いっぱい出たわね…
子供の友達に中出しされちゃった
どろぉ
これ以上はもう絶対ダメ…


あっ
宏が帰って来た

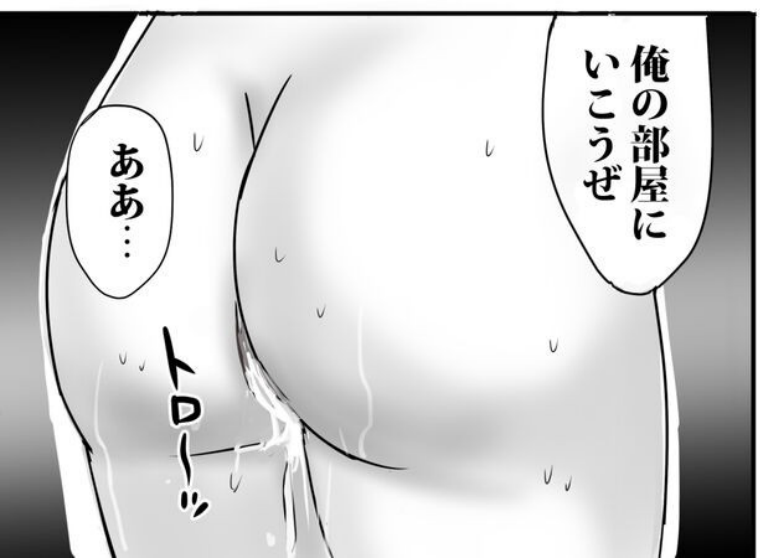

ただいま〜

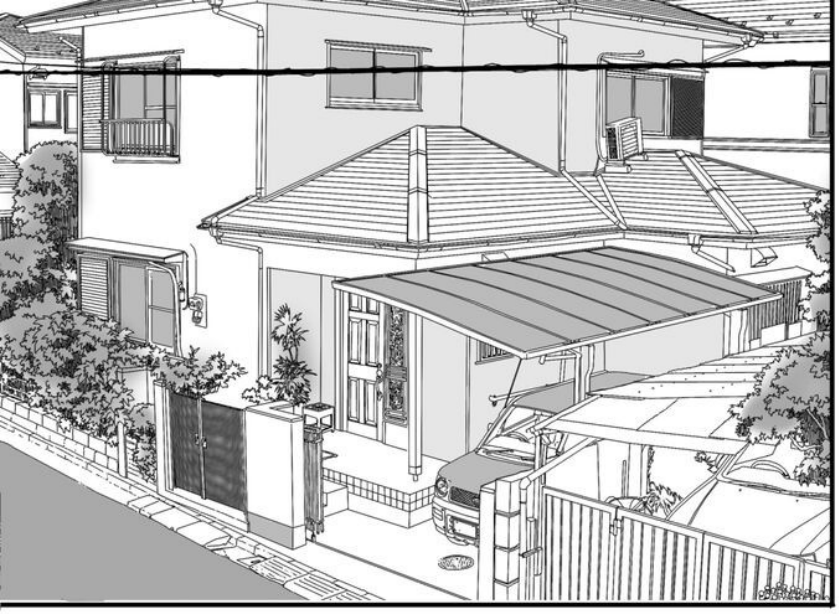

あれっ
母さん
居ないの？


ガチャ
母さん…

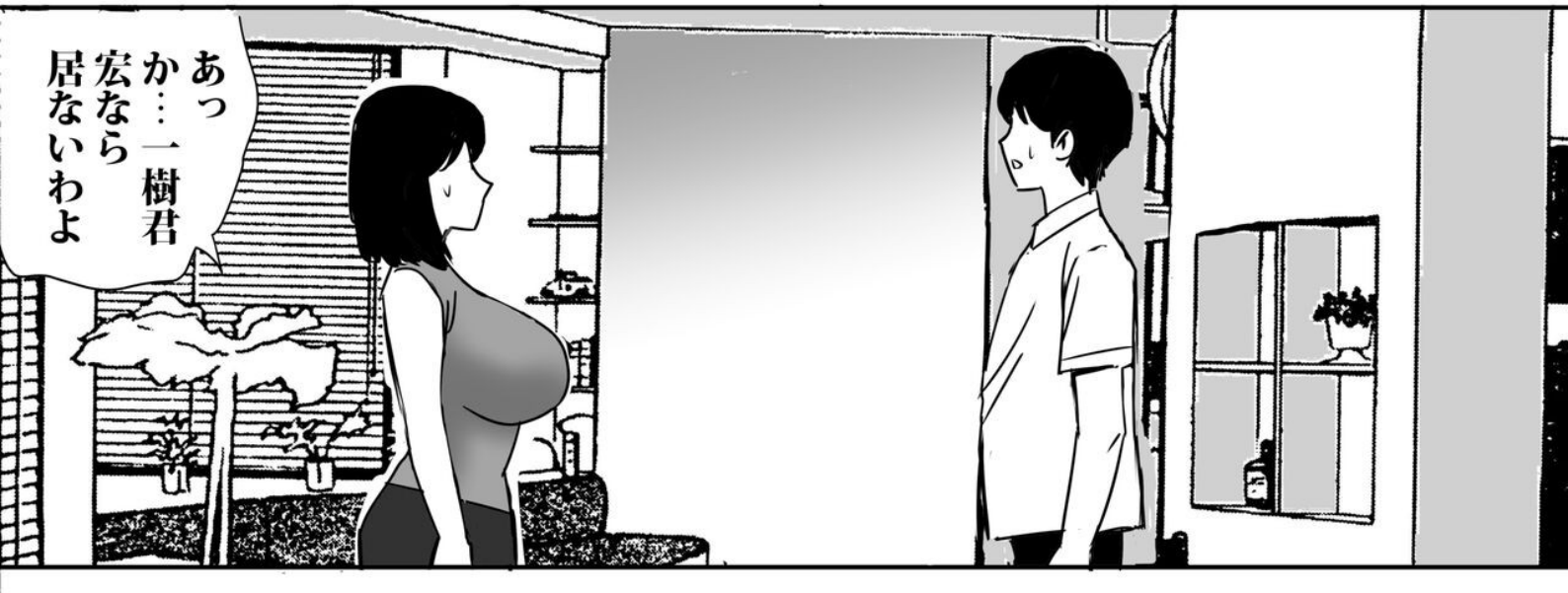

おっなんだ
一樹来てたのか？
ああ…
今来たとこ
なんだ

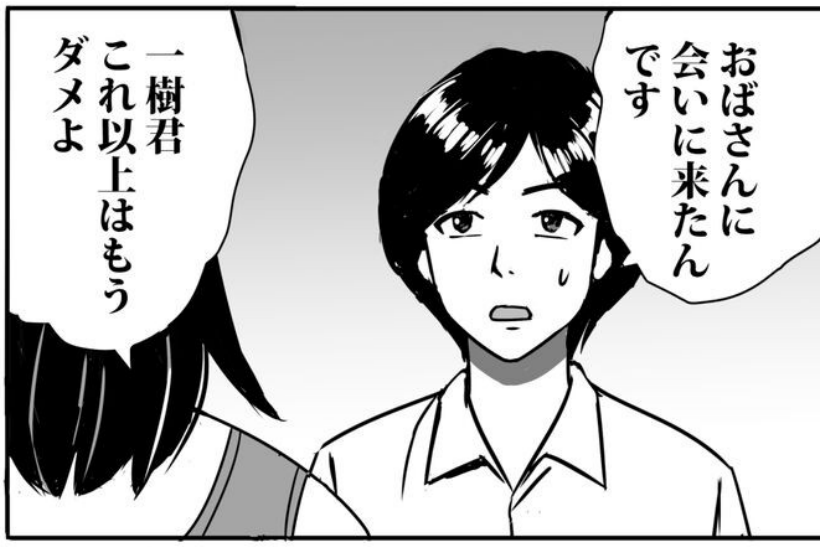

あっ宏
お帰りなさい


俺の部屋に
いこうぜ
ああ…
トロ〜ッ






あっか…一樹君宏なら居ないわよ


おばさんに会いに来たんです
一樹君これ以上はもうダメよ


昨日は宏がいたから何も言わずに帰ってもらったけど…


おばさんがこうしていられるのは僕があの時助けたからですよね…


私を脅迫するの
ち…違うよ
おばさんともっと
一緒に居たい
からだよ!!
ギュッ
好きなんだよ
おばさんが…
どうして
僕の気持ち
分かって
くれないんだよ
ああっダメ
一樹君…
スルッ
ムニュ
ギュッ
あぁ〜ン
ギュッ
グッ
グッ


おばさん
キスして…
も〜
しょうがない
わね
エュッ
ネロ
ネロ
ジュル
ジュル
ジュル
そうだ
おばさんに
プレゼントが
あるんだ！
えっ
な〜に？
一樹君…？
かあああ…
モッ
モッ


一樹君…
これって
ちょっと
エロくない
そうかな…
だ…だけど
おばさんに
凄く似合ってるよ！
セクシーだよ
おばさん！
ねっ
セックスして
いいでしょ？
ホントに…？
むちっ
プリン
プリッ
私もう38よ
しかたない
坊やねぇ
ヌチュ
ホントは
私もあの巨チンの
味が忘れられ
ないの


ヌチュ
ヌチュ
ヌチュ
やっぱり
イイ〜
アッ
アッ
アン
一樹君の
オチンチン
サイコ〜!!
ズリュ
ズリュ
ズリュ
ウンッ
おばさん
好きだ!
大好きだよ!!


ぐぱ。
ぐぱ
ああ…
こんなこと
ダメなのに…
ぐぱ
のめり込んでいく
なお、
なお、
アッ
なお、
なお
アッ
スリスリ
スリスリ
スリスリ
スリスリ
スリスリ
一樹君の
オチンチンで
私のアソコ
蕩けそう


アン
スリコ
スリコ
パチュン
パチュン
アン
スリコ
スリコ
アン
アン
アン
アン
はぁ、
はぁ、
はぁ、


私完全に一樹君のオチンチンの虜にされてる…
アッ
アッ
アッ
アッ
アッ
ブルン
ブルン
コン
コン
ズチュ


僕の彼女になってよおばさん
ねぇ、
ねぇ
ねぇ
ヌチュ
ヌチュ
ヌチュ
絶対おばさんを幸せにするから
アッ
アッ
アッ
アッ
アッ
いいわよ一樹君の彼女になってあげる
だからもっとオマンコして〜


ア!!
ア!!
ア!!
そ…そこっ
あっあああ…
イク～～～!!


自分から腰振って
一樹君のオチンチン
求めてる
一樹君の
チンポが
大しゅき～!!
もっともっと
チンポ欲しい～
～～!!


一樹君のオチンポ
味わいたい
うんっ
あんっ
ゴン
ゴン
あぁ
ヌリュ
ヌリュ
ヌリュ


お…おばさん
もうで…出る…
アッ
いいわよ
出して!!
アッ
アッ
一樹君の精液
私のオマンコに
たっぷり注いで
～～!!
ビュル
ドドド


なぁ、
おばさん
大好きだよ
なぁ、
なぁ、
なぁ、
トロー
ヨダ
私もよ
一樹君…


汗かいたから
シャワー
浴びようか
うん


ああ…
ダメよ一樹君
こんなところで


ギュッ
ぐりぐり
これじゃシャワーできないよ…
しょうがないだろおばさんがエロ過ぎるんだよ
あぁぁっ♥
おばさんのお尻見てたらまたしたくなっちゃったんだよ
あ、
あ、
んっ♥
もう…駄々っ子ね…
パン
パン
パン


ああ…
こんなにしたら
オマンコ壊れ
ちゃう～
ぐっ
ズリュ
ズリュ
ズリュ
ズリュ
ズリュ
ブルン
ブルン
ドッ
ドッ


でも…
壊れてもいい
なおっ
ヌチュ
一樹君とセックス
できるなら本望よ
ヌチュ
アッ
アッ
アッ
もっともっと
突いて〜!!
オマンコ
壊して〜〜〜!!


イッちゃう
またイッちゃう
あああ
もうおばさんは
僕のもんだよ
誰にも渡さないよ
Continue